

I-5 机間指導

先生、○を付けてくれたので、自信をもって発表できた！

☆ 机間指導は何のためにするのか？

1 (教師) : 40 (子ども) から1:1の学習にする。

子ども一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導を意図的に行いましょう。

教師と子どもの人間関係を深める。

個別に温かい言葉をかけて、丁寧に指導し、信頼関係を築きましょう。

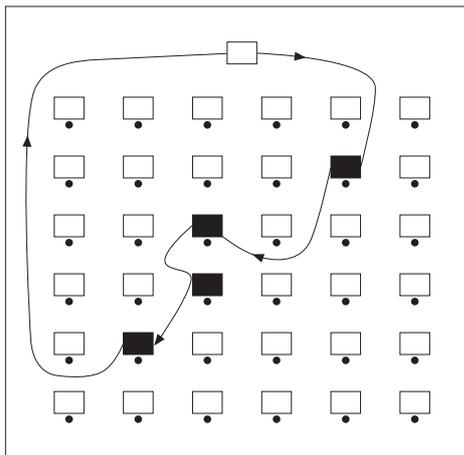
☆ 机間指導の留意点

- 教科の得意・不得意だけでなく、学習意欲があるのに伸びないとか、よく発言するが学習内容が定着しにくいなどの一人一人の学習のようすを把握しておきましょう。
- 上からザッと見渡すのではなく、腰をかがめて、子どもの目線で接しましょう。
- 子どもが安心感と自信をもてるよう、一人一人のよい点を認めたり励ましたりしましょう。
- 一人一人のつまずきや変容を、計画的、継続的に観察・記録し、個に応じた指導に役立てましょう。



☆ ねらいをもって机間指導をする。

机間指導は明確なねらいをもって行うことが大切です。次の例を参考に、日々の机間指導を見直してみましょう。



〈例〉ねらい： 普段、発表の少ない4人の子どもが自信をもち、発表できるようにする。

- ① 全員がノートに感想を書いているか確認する。
↓
- ② 4人の子どもに対して、赤ペンでよいところに○を付けて認め、自信がもてるようにする。
↓
- ③ さらによくするために改善したらよい点について助言し、励ます。
↓
- ④ よい感想が書けたことを伝え、みんなに紹介してほしいことを伝える。

1時間に1回は、気になる子どもの所へ！

1時間に1回は、気になる子ども、特に課題を抱える子どもの所へ行って声をかけましょう。日頃反発する子どもも、先生が気にかけてくれていることが伝わり、内心では喜んでいきます。

わん！ポイント！

